

海外安全対策情報(令和7年10月～令和7年12月)

在ラトビア日本国大使館

1. 社会・治安情勢

一般的にラトビアは、対日感情が良好であり、ヨーロッパでも比較的安全な国であるとされています。一方で、日本の犯罪発生件数(人口当たり)と比較すると、殺人は約5倍、強盗は約13倍多くなっており、十分注意が必要です。

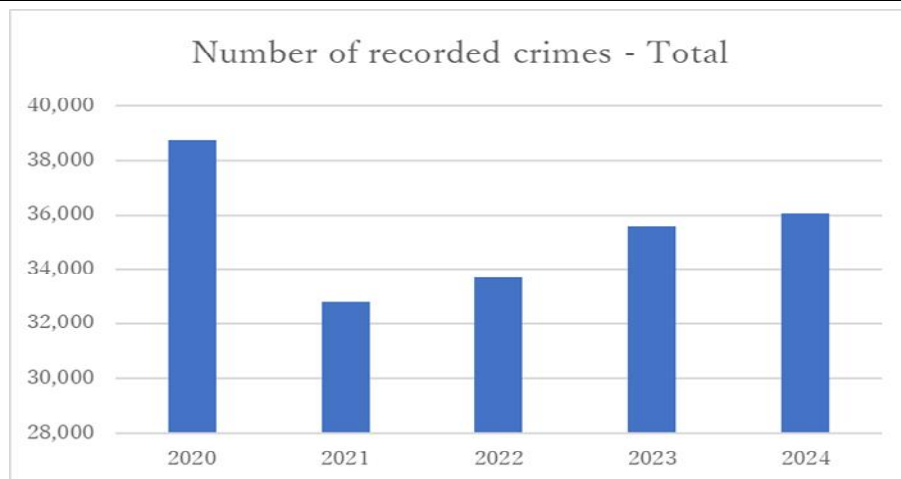
また、近年、世界各地において、単独犯によるローンオフエンダー型テロや、一般市民が多く集まるレストラン、ショッピングモール、公共交通機関等のソフトターゲットを標的としたテロが頻発しており、こうしたテロの発生を未然に防ぐことは困難です。

テロはどこでも起こり得ること、日本人も標的となり得ることを十分に認識し、テロ・誘拐に巻き込まれることがないように、「たびレジ」、海外安全ホームページ、報道等により最新の治安情報の入手に努め、状況に応じて適切かつ十分な安全対策を講じるよう心掛けてください。

2. 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

ラトビアにおける2024年の犯罪認知件数は36,080件(ラトビア統計局)であり、前年と比較し増加しています。最近では邦人に旅券の盗難被害が発生しており、引き続き注意が必要です。

| | 2022年 | 2023年 | 2024年 |
|--------|---------|---------|---------|
| 犯罪認知件数 | 33,707件 | 35,609件 | 36,080件 |
| 殺人 | 72件 | 70件 | 80件 |
| 強盗 | 280件 | 321件 | 271件 |
| 薬物関連犯罪 | 1,462件 | 1,492件 | 1,426件 |
| 強姦 | 122件 | 123件 | 147件 |



※出所:ラトビア統計局

また、以下のような詐欺等の犯罪が発生しています。いずれのケースにおいても、身に覚えのない発信元からの連絡には注意し、相手方から提供されるリンクや連絡先に対してではなく、公式ホームページ等に掲載されている連絡先等、信頼できる情報源に確認してから対応してください。

(1) DPD、omniva、Latvijas Pasts 等の配達業者や「Booking.com」等の偽のホームページや SNS を介し、個人情報やカード情報を詐取する手口

メールや SMS、SNS 等により、「荷物の宛先に間違いがあり、送付できません。宛先を確認してください」、「宿泊予約の確認手続きを行ってください」等のメッセージとともにリンクが送信され、リンクにアクセスすると公式サイトそっくりの偽サイトに誘導され、入力したクレジットカード情報等が詐取される手口です。安易にリンクをクリックすることなく、メールの発信元やリンク先のアドレスが正しいものかどうか、公式ホームページ等に記載の連絡先に確認してください。

(2) 政府、警察、消防や銀行等を装い電話や SNS 等で個人情報やカード情報を搾取する、あるいは金銭を送金させる手口

銀行口座の詳細(クレジットカード番号、PIN コード、Smart-ID ログインコード、CVC コードなど)やその他の機密情報は、他人に教えないでください。警察などの国家機関や銀行の職員がそのような情報を要求することはありません。

(3) テレワークの増加に伴うサイバー攻撃

不審な電子メールのリンクや添付ファイルを開かないでください。

3. テロ・爆弾事件発生状況(2025年10～12月)

テロ事件の発生はなく、爆弾事件関連の認知件数は15件(虚偽の通報)でした。

4. 誘拐・脅迫事件発生状況(2025年10～12月)

誘拐事件の発生はなく、脅迫は57件発生しています。

5. 日本企業等の安全に対する懸念

特段の問題は報告されていません。

6. 邦人が巻き込まれた事件、具体的措置及び注意事項

(1) 2024年7月、リトアニアのカウナスからラトビアのリガまでの間を電車で旅行中の邦人旅行者が、旅券及びクレジットカード等を盗まれる事件が発生しました。被害に遭われた方は、盗まれた旅券等をウェストポーチの内側(体に接した側)のチャック付きポケットに入れていましたが、リガ駅で電車を降りた際、なくなっていることに気が付きました。電車内で10分ほど仮眠を取っていた際に盗まれたものと思われます。

また、2023年7月、リガ市内のスーパーマーケットに駐車中の自動車内から、邦人の旅券等が入ったバッグが盗まれる事件が発生しました。いわゆる「リレーアタック」と呼ばれる手口による被害とみられています。駐車中の車内に貴重品を置かないことはもちろん、電波を遮断するキーケース等の使用や、駐車した車両から車外に出る際、周囲や背後に不審者がいないかどうかを確認する、自宅に保管中のスマートキーの保管場所や方法に注意するなど、防犯対策に万全を期してください。

日本人被害者は確認されませんでした。2021年4月にリガ中央駅付近に所在するホステルで火災が発生し、死傷者が複数発生しました。報道によれば、同ホステルは安全対策の検査を受けていなかったとの情報もあります。宿泊施設を検討する際には、評判等を含め、よく情報収集をしてから選ぶようにしてください。

(2) 1月から3月の間に、注意すべき一般犯罪等は以下のとおりです。

- ・日が暮れる時間が早いため、暗い路地等は避け、犯罪に巻き込まれないよう注意してください。また、戸締まりをしっかりと行い、空き巣に注意してください。
- ・日照時間の減少や、悪天候による視界不良時、降雪や路面凍結時等の際には、事故に巻き込まれないよう特に注意が必要です。国家警察は、歩行時や自転車に乗る際には、自動車の運転者から見やすいよう反射材を身につけ、ライト等が正常に機能するか確認するよう呼びかけています。車を運転する際は、気象情報に注意し、事故の当事者にならないよう十分気をつけてください。
- ・気温が氷点下になる日が多くなります。少し散歩するだけのつもりでも防寒対策をしっかりと行い、凍結した路面等で転倒しないよう注意してください。
- ・リガ中央駅周辺、バスターミナル、旧市街、中央市場や中央駅・バスターミナルから旧市街に抜ける地下道では、複数人のグループによる、観光客を狙ったスリや置き引きが発生しています。当館に寄せられた目撃情報によれば、スリ犯人グループの1つは、リガ中央駅付近の地下道を中心にターゲットを物色しており、リュックサックを背負った人を見つけては背後から近づき、リュックサックに触れる行為を繰り返し、相手に気づかれた場合は「チャックが開いていたよ」などごまかす行為を行っていたとのことです。特にリガ中央駅や中央市場周辺等の犯罪多発地点においては十分な注意が必要です。
- ・いわゆる「ぼったくりタクシー」が高額なタクシー代を請求する場合があります。下記以外のタクシーを利用する際は、乗車前に料金について確認してください。

リガ空港では、到着ゲート出口外で、空港での営業許可を受けたタクシー会社、「XTaxi」、「TaksiLV」、「Red Cab」が利用できます。これらの会社のタクシーには、空港からリガ市内中心部までの定額料金が設定されており、車のドアに表示されています。

リガ空港のビジターセンター(到着ホールE)で上記のプリペイドバウチャー(33.50ユーロ)を購入することも可能です。

(<https://www.riga-airport.com/en/taxi-service>)。

また、ラトビアでは、配車アプリ「Bolt」も便利です(<https://bolt.eu/>)。

・いわゆる「ぼったくりバー」が高額な飲食代を請求する場合があります。市内で突然女性に声をかけられるなどして連れて行かれたバーやストリップバーで被害に遭うケースが報告されています。なお、市内の一般的なレストランでぼったくり被害にあったという事例は報告されていません。

・ラトビアでは様々なデモ・集会等が行われています。不測の事態に発展する可能性もありますので、デモや集会等には近寄らないようにしてください。

(3) 近年日本人が被害に遭った犯罪事例は以下のとおりです。

・短期旅行中の邦人がリガ旧市街地で写真撮影をしていたところ、ショルダーバッグに入れていた現金、クレジットカード及びパスポートを盗まれました。

・短期旅行中の邦人が中央市場を観光していたところ、ショルダーバッグに入れていたパスポートを盗まれました。

・当地在住の邦人が、リガ旧市街にあるバー内で飲食をしていたところ、鞆の中にあった現金、カード及び日本の運転免許証等が入った財布を盗まれました。

・短期旅行中の邦人がリガ中央駅ショッピングモール内のエレベーターで移動中、ショルダーバッグに入れていたパスポートを盗まれました。

・自由記念碑付近のマクドナルドで、ホームレス風の者に言いがかりをつけられ、暴力をふるわれそうになりました。

(4) 当館では、メール等を通じて、当地での安全対策についての情報を提供しています。在留届の提出や旅レジへの登録をお願いします。

(了)